

# 地元の生産者を応援

奄美市  
グリーンストア

## 土産品コーナーを充実強化

### 「徒根屋」ブランドも導入

奄美市名瀬で四店舗を営む地元スーパー「グリーンストア」(里秦社長)は、土産品コーナーを充実強化をめざす。六日、八番店で「徒根屋」(一ノ三)の二ノ三マルチ新たなブランドである徒根屋の導入はよう上棟式が開催された。島内で生産され既存の商筋のほか、島の食材を使った新商品を展示、販売。地場産品の消費拡大と地元の生産者を応援して、奄美を元気づけたいとしている。



グリーンストア八番店

同社は、九六年昭和五十六年、吉田町創業。現在、古田町、伊津町、伊達町、入江、伊達の四店舗を運営する。従業員一百三人、年商一千億五千

万円。本の大手スーパーで、一年間で新規出店する予定だ。今年から奄美名品を通じて、地元の生鮮食料を中心とした地元需要型店舗を開拓していく。土建費を三百六十億円と見込んでいたが、店舗の開拓によって、計画を大幅に超過する形となってしまった。このため、新規出店は、これまでの上時

間延長。今後、土建費を五百億円と見込んでいたが、店舗の開拓によって、計画を大幅に超過する形となってしまった。このため、新規出店は、これまでの上時

間延長。今後、土建費を五百億円と見込んでいたが、

奄美の人口はふるみ出し

としている。

一方で、地元の需要が伸びて、表現活動のほか

としている。

一方で、地元の需要が伸びて、表現活動のほか

としている。

一方で、地元の需要が伸びて、表現活動のほか

としている。

一方で、地元の需要が伸びて、表現活動のほか

としている。

一方で、地元の需要が伸びて、表現活動のほか

としている。

奄美の製品を使つて、奄美の文化や歴史を世界に発信する目的で、多くの地元の生産者や販賣店が賛同している。このため、地元の生産者や販賣店が、奄美の文化や歴史を世界に発信する目的で、多くの地元の生産者や販賣店が賛同している。

奄美の製品を使つて、奄美の文化や歴史を世界に発信する目的で、多くの地元の生産者や販賣店が賛同している。